

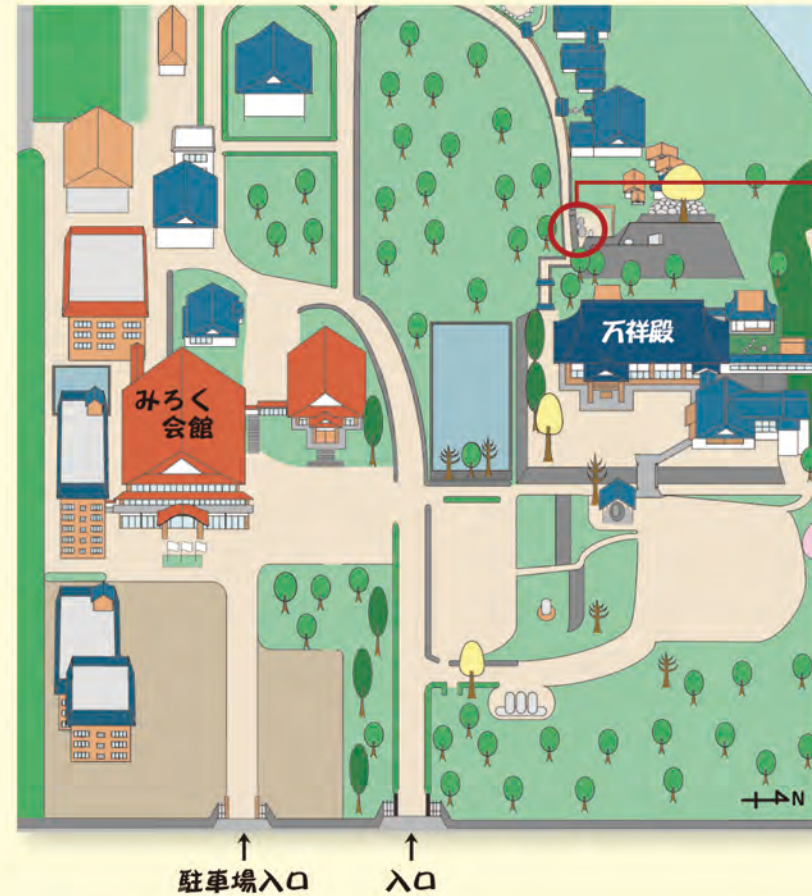
大安石と小安石

神気満ちる
パワースポット

大安石、小安石は、それぞれにありがたいご神徳のいただける霊石だといふことがお分かりいただけたと思います。

もちろん、その場ですぐに病気が癒えるというものではありませんが、真剣に祈り、真心をもってご守護をお願いしたとき、石に触れたその手に、優しい温もりと、力強いパワーを感じる事ができるかもしれません。

神気に満ちたパワースポットで、心身共にエネルギーを充電してみてもいいかがですか。
ぜひ一度、お越しください。



大安石
小安石

※大安石・小安石へお越しの際は、石祥殿でのお祓いが必要となります

※詳しい苑内地図は「大本いろは」No.14をご参照ください

大本の聖地・天恩郷（京都府亀岡市・「大本いろは」No.14参照）の神苑内には、神殿などの建物をはじめ、礼拝所や霊石、歴代教主の道歌が刻まれた歌碑などが点在しています。
その中の一つに、「大安石」「小安石」という霊石があります。ここでは、この二つの霊石に手を当てては体をさすったり、真剣に祈念している参拝者の姿がよく見受けられます。
さて、この「大安石」と「小安石」とは、一体どんな霊石なのでしょうか…。



みろく博士

大本本部

綾部・梅松苑 綾部祭祀センター
〒623-0036
京都府綾部市本宮町1-1 梅松苑 / TEL 0773 (42) 0187

亀岡・天恩郷 亀岡宣教センター
〒621-8686
京都府亀岡市天恩郷 / TEL 0771 (22) 5561

東京本部 東京宣教センター
〒110-0008
東京都台東区池之端 2-1-44 / TEL 03 (3821) 3701

大本ホームページ <http://www.oomoto.or.jp/>



<連絡先>





大安石とは…？

大安石は、昭和二年（一九二七）十月五日、出口王仁三郎聖師（「大本いろは」No.20参照）の指示により、天恩郷に安置されました。

この石は、当時の長野県の本部の支部から、国魂石（その土地ゆかりの石）として聖地に献納された霊石で、県下でも、内臓の病気を直しに良いと伝えられてきたものでした。

もともとは、現在の倍ほどの大きさでしたが、昭和十年に起こった第二次大本事件の際に、官憲によって半分に割られてしまいました。

現在、安置されている右側には、事件で割られた大安石の一部（写真下中央）が残されています。

小安石も、同じく王仁三郎が鎮魂した霊石です。主に子供の病気を癒や、子宝に恵まれるようお願いすると、ご神徳をいただくと示されています。

表面にあるでこぼこは、昔から赤子の足跡のように見えるので、一名「赤子岩」ともよばれていましたが、王仁三郎は「実は天人の足跡である」としています。



～胃腸の病気を癒やす～

大安石

～小児の病・子宝にご神徳～

しょうあんせき

小安石



小安石も、第二次大本事件の際には、石の表面の一部が削られてしまふなど、大安石と同様、今も事件の傷跡を残しています。

小安石とは…？

小安石は、王仁三郎の郷里・京都府亀岡市曾我部町の法貴谷というところにあつたもので、昔から小児に対して霊験があるといわれてきた石です。

当時、地元では名所になっていたため、普通ではなかなか手に入らないところ、王仁三郎自らが村民（当時は曾我部村）に交渉し、「天恩郷に上がるのなら結構である」と譲ってもらい、大安石と同じ昭和二年十月五日に安置されました。

大安石は、あらゆる病に悩む人々がご神徳をいただけるよう、出口王仁三郎聖師が鎮魂して力を込めた霊石です。

すべての病気に対してご神徳をいただけますが、特に胃腸など腹部に関係する病気にご守護があり、石肌に手を当て祈念をし、その手で患部をさすると、大きなお陰を頂けると示されています。

